

公開質問状

アピール
京都大学原理研究会

11月祭全学実行委員会ならびに、実行委員長（藤原君）に対して次のことを要求する。

- 一. 全学生の前にすみやかに決議に関する議事録^{*}を公表すること。
- 二. 過去において、この決議が公表されなかった事実があるのはなぜか、その理由を全学生の前に明らかにすること。

* 11月祭から、原理研究会とそれに関係する団体が
不当参加拒否されている 声明ならびに 決議に関するもの

—藤原委員長に告ぐ『進めるのはやめろ!』—

去る11/6(火)PM4:45ごろ我々の代表が上記の旨を記した『質問状』(NF実行委員長藤原浩君宛)をNF事務局へ持っていったところ、対応に出て来たNF事務局長田辺君は話の内容も聞かず、ただ「話す事はないとにかく帰れ」を連発、それから「原理研はこの事務局の中に入ってきてはいけないのだ。」「全学実行委で決定されているのだ。」といったような彼らの人格と、大学自治や民主主義というものに対する根本的な考え方を

疑わざるを得ないような発言をしたのであった。

“京大における全学友の自主的、創造的活動の場”であるはずの11月祭において、ある特定のサークルが一方向的に弾圧され、しかも話し合いにも応じないどころか、上記の質問状の様な当然認められるべき権利に対しても、それを全く無視するといった態度は決して許されるべきものではないであろう。

—11月祭不当参加拒否に

断固抗議する!—

我々は、この11月祭不当参加拒否に断固抗議するとともに、先日勇気にも「話し合いにも応じない」といった態度でうやむやにしようとした上記の質問状について、全学友の前には“公開”するという形をもって、公正なる学友の審判をあおがんとするものである。

くり返し言う!

NF全学実行委員長 藤原浩君は、すみやかに上記二項目に対して解答されたし!

== 去る 9/24 に於てもそうだ! ==

実は、去る 9/24(金)に、原理研究会の会員と、共産主義研究会の会員がそれぞれ参加申し込み用紙をNF事務局に持っていった時も、先述の田辺君が応対に出て、「原理研究会はすでに参加拒否が決定され確認されている。」「話し合う余地はない。」等々の理由で申し込み用紙すら受けとらなかったのである。

両会員が参加拒否の具体的かつ明確なる理由を問いただしたところ、田辺君は、「ここは事務局で全学実行委

の決定した事を事務的にやっているだけだ、文句があるのなら全学実行委の方へ行ってくれ。」と言いのがれを言いはじめた。そして、ちょうどその日(9/24)PM 4:15から4L講で全学実行委が開かれることになっているのでそこへ行けというのである。しかし、4:10ごろ両会員がそこへ行ってみると、待ちかまえていたのは十数名の武装した赤ヘル集団だったのである。

== これが自治破壊でなくて何だ! ==

11月祭は全京大生の祭りである。これは、当然すぎるほど当然のことである。しかし現状ではその大前提が完全にくずれてしまっているではないか!

11月祭「全学」実行委員会という特殊な、閉鎖された、一部の団体により秘密裏に専らこぼれ、彼らに都合の悪いサークルは、全学実行委という絶対なる名のもとに闇に葬り去られてゆくのである。

“十分なる討論”という民主主義の大原則を全く無視し「すでに決定された。」の一点ばり、質問状すらうけとらない。これは、我々のサークルの基本権を奪う不当な弾圧である。しかも実祭に話し合いに出かけてゆけば暴力(赤ヘル武装集団)によってこれを封じようとする。

これはまさしく独裁支配(ファシズム)以外の何ものでもない!

質問状

今年の十一月祭実行委員会声明に於いては、決議に關してその内容が、原理研究会の問題のみならず、入学自治及び十一月祭の本質的意義に關する重要な問題であるので、十一月祭実行委員会並びに実行委員長に対し、次のことと要求する。

一、全学生の前にすみやかに、決議に關する議事録を公表すること。

二、過去において、この決議が公表されたことが事実であるならば、その理由を、全学生の前に明らかにすること。

一九八二年十一月十六日

十一月祭全学実行委員会委員長
藤原 浩 殿

京都大学原理研究会

▲原研会員の手により、田辺君にさし出された質問状、田辺君は受けとらなかった……

藤原君へ!

君も「民主主義」「自治」を語る者ならば、すみやかに質問状に対する解答を全学友の前に明らかにせよ!

京都大学 原理研究会